

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	総務部 管財課	氏名	神田 信広
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 河南はつらつセンター		

① 研修の日時、内容

1日目	6月22日	午前	・ハウスにてイモ苗の選別 ・イモ農場にてイモ苗植え、水やり、草抜き
		午後	・イモ農場にてイモ苗植え、水やり、草抜き
2日目	7月6日	午前	・はつらつセンター前の草刈 ・依頼者宅の剪定枝を指定場所へ運搬
		午後	・200本程度のオクラに支柱設置
3日目	10月26日	午前	・イモ堀り ・ネギ畑の草抜き
		午後	・イモの仕分け、運搬 ・ネギ畑の草抜き ・ハウスにて豆の手入れ
4日目	11月2日	午前	・イモの仕分け、運搬 ・ネギ畑の草抜き
		午後	・アスパラガスを植えるための1m程度の穴掘り
5日目	12月14日	午前	・インゲン豆、エンドウ豆の収穫、手入れ
		午後	・水菜の収穫、間引き ・ハウス内の防寒対策(ビニールにて風よけ)



ハウス内作業



イモ苗植え作業



草刈作業

② 河南はつらつセンターの作業

就労継続支援B型施設として、利用者とスタッフで様々な作業をしておられます。

作業としては商品展示用の箱、販売促進用グッズの組み立てや、畑でイモ、ネギなどの農作業をしておられ、障がいなどの様々な事情をお持ちの方や、若い方から年配の方まで、スタッフを含めていろんな方がおられます。

利用者の送迎、施設の掃除、作業前のラジオ体操、それぞれの体調に合わせた作業の割振り、利用者と一緒に農作業など、スタッフは多くの仕事を分担してやっておられ、その中で私は農作業の手伝いをさせていただきました。

私は主にイモの苗植えから収穫まで手伝わせていただきましたが、イモ畑以外でも多くの野菜が植えられハウスが数棟、ネギ畑など相当な面積になります。夏も毎日、屋外作業をしておられ、ビニールハウス内の温度は40度を超える日もあるそうですが、そんな中でも利用者は仕事だからとしっかりと作業しておられました。一方、私は少し作業しただけで手が止まってしまう、自分の体力の無さに愕然としました。

※就労継続支援B型とは・・・

「障害者総合支援法(旧 障害者自立支援法)に基づく就労継続支援のための施設です。

現地点で一般企業への就職が困難な障がいをお持ちの方に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを供与することを目的としています。

B型は雇用契約を結ばず、利用者が作業分のお金を工賃としてもらい、比較的自由に働ける”非雇用型”です。」

(障がい者就業サポートガイド fukushi-navi.jpより引用 http://www.fukushi-navi.jp/keizoku_B.php)
因みに、A型とB型があり、A型は雇用契約を結ぶ形態のことです。

③ 研修の感想

スタッフの方から聞いた話では、「養護学校に通っている間、ほとんど人と話をしなかった子たちがセンターに通所し始めて半年くらいで話すようになる。仕事を与えられることで自信がつくからだと思う。」

実際、利用者のみなさんは私にも気さくに仕事の内容や趣味について話をしていただき、とても居心地がよく、楽しく作業ができました。私が初めて訪れた6月と、最後の12月の様子を比べると、途中で利用し始めた方からは次第に緊張がほぐれ、笑顔が以前より増えていきました。それはスタッフや利用者の方々が居心地のよい雰囲気をつくっておられるからだと思います。

研修期間で利用者の方が増えるとともにスタッフも増員されていました。通常は利用者20人に対してスタッフ4人だそうですが、それでは現状維持しかできないため、河南はつらつセンターではスタッフを8人にし、農作業拡大や就労支援A型を目指し、新しいことに挑戦しておられます。スタッフが増えている点で意欲的な組織であり、社会からも必要とされているから利用者も増えていると思います。また、河南はつらつセンターは元市立幼稚園の建物を使用しておられ、自らトイレをリニューアルしておられたり、畑で農作業用の井戸ポンプを設置しておられたり、少ない予算の中でも利用者の方が使いやすいように工夫しておられることに頭が下がりました。

河南はつらつセンターはもともとシルバー人材センターの役割のみしておられたそうですが、訪問先のご家族の中に障がいをもった方がおられ、その方が社会に出ておられない状況を見て、働く場所をつくらないといけないと思い就労支援を始められたそうです。私自身、養護学校の整備に関わったことがあり、養護学校が必要とされている施設であることは分かっていました。しかし、河南はつらつセンターのような卒業後の進路、就職先を社会として確保していくことも非常に大切ではないか、養護学校卒業後の長い人生を考えれば就労支援の方がより大切ではないかと思うようになりました。県としても就労支援に取り組んでいると思いますが、河南はつらつセンターはNPO法人として行政ができていないことに取り組んでおられ、今後も必要な場所であるとともに県として支援していく必要があると思いました。

今回の研修をとおして、今まで知ることができなかったNPO法人の中を直接体感することができました。行政でカバーできていないことがまだまだたくさんあることを知ると同時に、自分の仕事だけでなく社会の状況を広く興味をもって知っていくということが公務員として必要であると再確認できました。

最後に、大変お忙しい中、研修を受け入れてくださった河南はつらつセンターの方々に感謝しております。ありがとうございました。